

平成28年

稚内市農林業の動向

稚内市建設産業部農政課

も く じ

1 農業の概況	1
2 農業の動向	2
○農家戸数	2
○農業従事者	2
○経営耕地面積	3
○農業生産	4
○農家経済	5
3 農村生活環境の整備	6
4 農業農村整備事業	6
5 稚内農業の課題	7
6 林業の概況	8

参考資料

北海道農林水産統計年報（総合編）平成26～27年
宗谷の農業2014 他

1 農業の概況

稚内市の農業は、昭和20年代後半より、それまでの畑作農業から有畜農業へと転換を図り、現在は草地型の専業農家がほとんどを占め、水産業と並ぶ我が国における食糧供給基地として地域経済発展に寄与しています。

【稚内市農業のシェア】

(単位：戸、ha、頭、t、億円)

		稚内市 (1)	宗谷管内 (2)	(1)/(2)	北海道 (3)	(1)/(3)
農 家 戸 数		161	959	17 %	44,433	0.4 %
	[]	[156]	[698]	[22.3]	[38,086]	[0.4]
耕 地 面 積		14,700	62,300	23.6	1,147,000	1.3
うち 畑		14,700	62,300	23.6	924,500	1.6
家畜飼養頭数	乳用牛 〔法人除〕	13,780 〔 12,371 〕	68,665	20.1	792,400	1.7
	肉用牛 〔法人除〕	3,652 〔 941 〕	9,416	38.8	505,200	0.7
生乳生産量		67,294	323,770	20.8	3,758,947	1.8
肉牛出荷頭数 (肉用素牛、肉牛、和牛)		4,299				
個体販売頭数 (牝牛、育成牛、初生トク)		5,647				
農業産出額		96.6	294.0	32.9	11,110.0	0.9

注：〔 〕は、法人（乳牛・肉牛）を除く。

○宗谷管内、北海道の「農家戸数」は平成27年2月1日時点での数値
(北海道農林水産統計年報(総合編)平成26～27年)

○宗谷管内、北海道の「耕地面積」は平成27年2月1日時点での数値
(北海道農林水産統計年報(総合編)平成26～27年)

○北海道の家畜飼養頭数は平成27年度時点での数値(北海道農林水産統計年報(総合編)平成26～27年)

○宗谷管内の家畜飼養頭数は平成25年度時点での数値(肉畜等に関する調査)

○宗谷管内、北海道の生乳生産量は平成25年度時点での数値(ホクレンより)

○北海道の農業産出額は平成26年度時点での数値(北海道農林水産統計年報(総合編)平成26～27年)

○宗谷管内の農業産出額は平成18年度時点での数値(北海道農林水産統計)

○稚内市の農家戸数は平成27年度農家台帳より算出

○稚内市の家畜飼養頭数・生乳生産量・肉牛出荷頭数・個体販売頭数・農業産出額は
稚内農協・北宗谷農協沼川支所より聞き取り

【稚内市農業に占める畜産(牛)のシェア】

	全 体 (1)	畜 産 (2)	(2)/(1)
農 家 戸 数	161 戸	156 戸	96.9 %
耕 地 面 積	14,700 ha	13,934 ha	94.8 %
農 業 産 出 額	9,663 百万円	9,658 百万円	99.9 %

(馬を含む)

(馬を除く)

2 農業の動向

○ 農家戸数

稚内市の農家構成は、酪農業を主業としている農家の割合が90%以上と極めて高いのが特徴です。

近年、農畜産物の輸入自由化等国際協調政策の中で、負債累増、後継者不在、経営の先行き不安等の事由により中核的専業農家層からの離農も発生しており、農家戸数は減少傾向が続いています。

【農家戸数の推移】

		(戸)				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総	数	163	162	160	158	156
	畜産	155	154	152	148	144

注：法人（乳牛・肉牛）を除く。

農政課調べ

○ 農業従事者

農家人口は農家戸数の減少に伴い減少傾向にありますが、農業従事者は、近年の景気の低迷による企業の合理化・リストラに伴う再就業や中核的農家における後継者等の就農があり、また、経営や人生に新しい価値観を有している者が多くみられますが、同時に高齢化も進んでおります。

経営規模の拡大や、それに伴う農業機械の大型化が進む中で、ゆとりある酪農を目指したヘルパー制度の活用による農休日の設定などの生活改善が進められており、平成27年度の酪農ヘルパー利用状況は、市内の2つの利用組合あわせて、延べ4,451日と、対前年比約105%となっています。また、飼料自給率の向上や生産コストの低減等を目指し、公共牧場やコントラクターの利用も増加しつつあります。農作業中の事故については、搾乳作業等の畜舎内の事故が目立っており、平成27年度農作業事故件数は負傷19件となっています。

【農業従事者の推移】

		(人)				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
農業従事者	(1)	460	428	418	469	396
稚内市人口	(2)	38,009	37,228	36,573	36,169	35,847
	(1) / (2)	1.2%	1.1%	1.1%	1.3%	1.1%

注：年間60日以上従事したものとする。
農家人口は、法人を除く。

農業従事者：稚内市農家台帳
稚内市人口：年度末人口記載

【酪農ヘルパーの利用状況】

		(延べ日数)				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
稚内農協酪農ヘルパー	利用組合	2,317.5	2,487.0	2,454.0	2,589.5	2,520.0
沼川酪農ヘルパー	利用組合	1,559.5	1,627.0	1,576.0	1,616.0	1,931.0
合計		3,877.0	4,114.0	4,030.0	4,205.5	4,451.0

酪農ヘルパー利用組合総会資料

【農作業事故】

(人)

		平成27年度		
		(男)	(女)	うち死亡事故
作業場所等	畜舎内作業	11	7	0
	(うち搾乳作業)	(3)	(4)	(0)
	その他作業	1	0	0
	(機械作業・整備)	(0)	(0)	(0)
合計		19		0

農政課調べ

○経営耕地面積

農業経営の酪農專業化に伴い、草地開発等の基盤整備事業により経営耕地面積の拡大が進みましたが、近年は横這いで推移しております。

また、離農や経営の集約化等に伴い、法人に対する土地の売買及び賃貸借が増加しましたが、1戸当りの面積は若干の増加傾向にあります。

【耕地面積の推移(畜産・牛)】

(ha)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
耕地面積	11,533	11,448	11,456	11,606	11,539
農家戸数(法人除く)	155	154	152	148	144
1戸当り面積	74.4	74.3	75.4	78.4	80.1

注：法人除く

耕地面積：農振農用地面積

【耕地面積分布(法人除く)】

25ha未満	22 人	100ha以上～125ha未満	27 人
25ha以上～50ha未満	8 人	125ha以上～150ha未満	17 人
50ha以上～75ha未満	26 人	150ha以上	13 人
75ha以上～100ha未満	50 人	計	163 人

個人経営耕地面積(最小)

0 ha

個人経営耕地面積(最大)

198.7 ha

○農業生産

稚内市の農業生産は、生乳と牛の個体販売に大きく依存しています。

(1) 生乳生産の動向

安全で良質な生乳生産に取り組んでおり、その大部分がバター、脱脂粉乳などに加工されています。

平成27年度の生乳生産量は、平成26年度の生乳生産量より上回る生産量となりました。

(2) 肉牛生産の動向

従来からの乳用雄子牛の肉用向け飼育に加え、乳肉交雑種（F1）生産が新たな肉資源となっており、酪農経営との複合による哺育育成経営が主体となっています。

(3) 中小家畜の動向

採卵鶏の飼養羽数434羽、戸数は6戸となっております。

(4) 畑作の動向

野菜生産者は戸数は少ないものの、馬鈴しょを中心に作っており、いちごやミニトマトの摘み取り体験、秋にはいも掘り体験などを受け入れている農家もあります。

また、地区農協婦人部及び有志が中心となって野菜の直売も行っており、年々生産意欲が高まっています。

【飼養頭数の推移】（法人含む）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
乳用牛	14,664	14,737	14,895	15,242	13,780
肉用牛	6,627	7,478	7,401	4,971	3,652

農家台帳

【生乳生産量の推移】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生乳生産量 (t)	63,724	57,924	65,485	66,190	67,294
搾乳頭数 (頭)	9,104	9,190	8,871	8,646	8,459
1頭当りの産乳量 (kg)	7,000	6,303	7,382	7,656	7,955

稚内・北宗谷農協販売実績

【牧草収量】

	一番草 (t/ha)	二番草 (t/ha)	1 ha当り計 (t/ha)	年間総収量 (t)	対象面積 (採草畑：ha)
平成23年度	22.10	9.87	31.97	463,565	14,500
平成24年度	21.69	11.09	32.78	475,310	14,500
平成25年度	19.16	9.95	29.11	422,095	14,500
平成26年度	20.38	10.59	30.97	449,065	14,500
平成27年度	22.85	12.1	34.95	476,159	13,624

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所

○農家経済

農畜産物の輸入自由化など国際市場化が進展し内外競争が強まる中、平成11年に制定された食料・農業・農村基本法に基づく価格政策の見直しにより加工原料乳価の形成が不足払い制度から、新たな生産補給金制度への移行、平成12年度より条件不利地域への経済的支援である中山間地域等直接支払制度の導入等、農業を取り巻く情勢は大きな転換期を迎えています。そうしたなか、腸管出血性大腸菌O-157問題やBSE（牛海綿状脳症）の発生により食品の安全性に対する消費者の関心が高まり、生産者として食品の安全な供給体制を確立するとともに、自立安定に向けた一層の経営努力をして、生産コストの低減や生産性の向上を図ることが望まれます。

【農業産出額の推移】

単位：百万円（%）

	生 乳	肉 牛	個体販売	合 計
平成22年	4,737 (70.6)	1,242 (18.5)	731 (10.9)	6,710 (100.0)
平成23年	4,737 (70.9)	1,222 (18.3)	725 (10.8)	6,684 (100.0)
平成24年	5,141 (69.8)	1,554 (21.1)	670 (9.1)	7,366 (100.0)
平成25年	5,226 (66.3)	1,824 (23.1)	834 (10.6)	7,884 (100.0)
平成26年	5,642 (68.4)	1,886 (22.9)	719 (8.7)	8,247 (100.0)
平成27年	5,983 (61.9)	2,597 (26.9)	1,078 (11.2)	9,658 (100.0)
稚内農協	2,335 (74.5)	263 (8.4)	537 (17.1)	3,135 (100.0)
北宗谷農協 沼川支所	3,648 (55.9)	2,335 (35.8)	541 (8.3)	6,523 (100.0)
備 考	乳代	肉用素牛、肥育牛、F1	雌牛、育成牛、初生トク他	

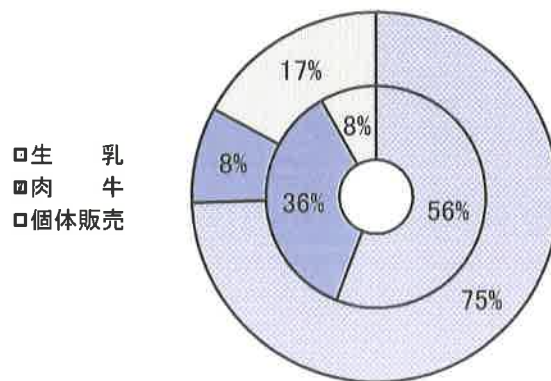
稚内・北宗谷農協販売実績

農業算出額の推移



農協別農業算出額比率

外円：稚内 内円：北宗谷



3 農村生活環境の整備

農村は、農業生産の場であると同時に生活の場でもあり、また、国土の保全や緑豊かな景観の維持形成などの多面的な機能の発揮を通じ、国民全体の生命・財産を守る役割を果たしております。

このため、生産基盤の整備と併せて住みよい農村づくりが進められています。

- (1) 教育、福祉施設の整備充実
- (2) 情報伝達施設の整備充実
- (3) 道路の改良整備、冬期間の道路確保
- (4) 水源かん養等の国土保全の充実
- (5) 景観保全等のアメニティ機能の充実

4 農業農村整備事業

農業農村整備事業は、農業生産基盤と農村生活環境の整備を通じて、国際化がより一層進展するなか、地域農業を支える優れた経営感覚・技術をもった担い手を育成・確保すること、地域農業の体質を強化し魅力あふれる農業の確立を図るとともに、快適な農村生活環境を創造することを目的としています。

稚内市では、次の事業を行っています。

事業主体	事業名	地区名	工期	総事業費 千円	事業内容
道	草地整備事業	稚内第2	H26～H30	1,042,000	草地造成改良 1.5ha 草地整備改良 872.0ha 用排水施設整備 360.5ha
	草地整備事業	沼川	H27～H31	382,300	草地造成改良 7.1ha 草地整備改良 397.8ha 用排水施設整備 40.4ha
	営農用水整備事業	増幌	H25～H33	1,122,000	送水施設（ポンプ5台） 送水管 L=1,800m 管理計装備
	農道整備事業	中増幌	H26～H31	340,000	点検診断一式 農道修繕 L=2,887m 防雪柵 L= 830m 防雪切土 L= 180m
農業公社	畜産担い手育成 総合整備事業 (再編整備型事業)	沼川南部	H24～H27	905,171	草地造成 10.8ha 草地整備 359.29ha 暗渠排水 21.95ha 畜舎整備 1棟 Bサイロ 14基 家畜排せつ物処理施設 2基

農政課調べ

5 稚内農業の課題

(1) 国際競争力をもった酪農地域の確立

国際競争に耐えうる生産体制を早期実現する。そのためには個別経営における生産性の向上、経営規模拡大に加えて、地域全体としての酪農支援システム体系の整備・充実が必要。

(2) 大規模集約型酪農の確立

豊富な土地資源を有する当市の特性を生かして、自給飼料の増産等潜在的生産力を完全に発揮した集約酪農の展開。

(3) 担い手の育成及び確保

経営感覚に優れ、強靱な体質を備えた意欲ある担い手を育成・確保し、農業・農村の安定的な発展を図る。

(4) 環境保全資源リサイクルの推進

農業用廃プラスチックの適正な処理と家畜糞尿の処理体系を確立した上で、今後農業が目指さなくてはならない「環境保全型農業」の形成。

(5) 農畜産物の付加価値向上

消費者や市場のニーズ、需要の動向に即した安全で良質な農畜産物の安定的な生産体制の確立。

(6) 農業・農村の活性化推進

所得と生活のゆとり、農村における「生きがい」など様々な生き方と価値観をもった人々を安住せしめる様な多様性をもった農村地域の形成。

稚内市の酪農（乳牛）の平均像（平成27年度・1戸当たり）

耕地面積	80.1 ha	(801,313 m ²)
乳用牛飼養頭数	85 頭	
1頭当たり乳量	7,955 kg	
農業産出額	4,903 万円	

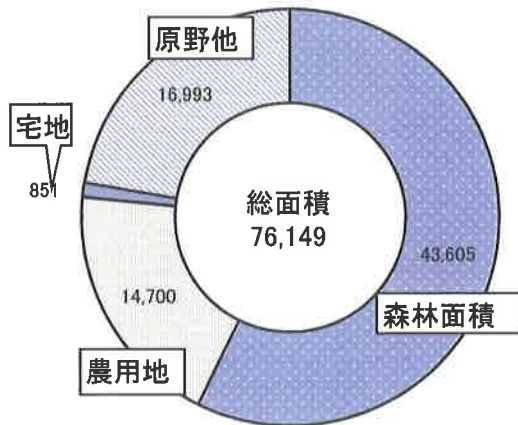
(法人除く)

6 林業の概況

1 森林資源の状況

本市の森林面積は43,605haで、その内訳は国有林19,780haで約45.4%、民有林は23,825haで約54.6%となっています。

総土地面積に対する森林面積



所有形態別森林面積



2 民有林の所有形態別森林面積及び蓄積

	立木地				無立木地 ha	合計		人工林 %
	人工林		天然林			面積 ha	蓄積 千m ³	
	面積 ha	蓄積 千m ³	面積 ha	蓄積 千m ³				
市有林 (うち複層林)	1694.12 187.37	203.84 28.83	749.91 263.64	75.17 15.71	1412.91	3856.94 451.01	279.01 44.54	43.92
私有林 (うち複層林)	4730.02 448.16	458.04 68.50	12364.08 750.45	1427.13 52.13	2874.05	19968.15 1198.61	1885.17 120.63	23.69
計 (うち複層林)	6424.14 635.53	661.88 97.33	13113.99 1014.09	1502.30 67.84	4286.96	23825.09 1649.62	2164.18 165.17	26.96

農政課調べ

3 森林施業の動向

本市の森林施業は、明治末期から大正後期にかけての乱伐と山火事による無立木地の解消を目的に造林事業に努めてきました。

民有林の造林は、昭和20年代後半から本格化され、造林実績は昭和31年から34年までは年間500ha程度の実績があったが、現在は27ha程度となっています。

今後においては、拡大造林の推進を主体としながら、人工林を有効に活かす複層林施業の推進、育成天然林施業の推進を積極的に図る計画であります。

また、保育管理を必要とする林分が多いことから、下刈、除間伐事業も推進します。

4 最近5ヵ年の造林実績

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単層林整備	拡大造林 (ha)	60	45	50	24	27
	被害跡地 (ha)	0	0	0	0	23
	下刈 (ha)	781	555	591	472	447
	間伐等 (ha)	148	193	173	173	191
	作業路開設 (m)	0	2,600	3,785	0	1,570
複層林整備	樹下植栽 (ha)	17	28	40	66	48
	下刈 (ha)	0	218	247	273	310
	間伐等 (ha)	96	122	112	112	27
	作業路開設 (m)	0	0	580	2,080	2,080
育成天然林	改良 (ha)	26	0	0	41	0
	作業路開設 (m)	3,015	0	0	1,550	1,550

農政課調べ